

夏の庭

—The Friends—

だってオレたち
あの世に知り合いがいるんだ。
それってすごい心強くないか!

原作 / 湯本香樹実
脚本・演出 / 印南貞人



福島市子ども劇場連絡会高学年部第148回例会

とき 2018年3月24日(土)午後7:00~8:40

ところ 福島テルサ (FTホール)

会員募集中

後援 福島市教育委員会・福島県市町村教育委員会連絡協議会伊達支会
川俣町教育委員会・福島民報社・福島民友新聞社・毎日新聞福島支局
朝日新聞福島総局・読売新聞東京本社福島支局・ラジオ福島・
福島放送・福島テレビ・福島中央テレビ・テレビユー福島

***** チ ケ ッ ト *****

・ 会 員 無 料

・ 一 般 2,000 円

※小学3年生以上から
入場できます。

お問い合わせ先
福島市子ども劇場連絡会
TEL 024-558-0066

夏の庭

—The Friends—

未来への課題

演出 印南貞人

「生きている！」これが「夏の庭」での第一声のセリフです。

これは観客のみなさんへのメッセージであり、私たち舞台を創るスタッフ・キャストへの呼びかけでもあります。

現在の社会が抱えている、家族のあり方、お年寄りの孤立、孤独死等を、時には厳しくあるいは切なく、心に響く言葉を織り込みながら、この原作は「現実」に真正面から立ち向かっています。

2011・3・11は、私たち演劇を創造するものに大きな衝撃を突き付けられました。

いま演劇に何が出来るか？という自問自答でした。

3・11の意味するものをどう表現し伝えていくか、私たちの課題だと思いました。そして今回の「夏の庭」を取り組むことを決意しました。

劇中「生きているのは息をしてるってことだけじゃない」というセリフがあります。

失われ逝った人々へ想いを寄せながら、いまある生を育む大切さを感じ取って頂ければ幸いです。原作のもつリズムミカルな言葉のテンポを大切にしたいと、舞台をお届けしたいと思います。

そして多くの子どもたちに心をこめて…。

《あらすじ》

町はずれのぼろ家に暮らすひとりの老人を三人組の少年たちは〈観察〉し始めた。

「死んだ人って見たことある？」「怖いけど見たい」「知りたいことは知りたいんだ！」と、生ける屍しかばねのような老人が死ぬ瞬間をこの目で見るために—。

夏休みを迎え、三人の好奇心は日毎に高まるけれど、不思議と老人は元気になっていくようだ—。

いつしか少年たちの〈観察〉は、老人との深い友情へと姿を変え始めていた…。

大人の世界にチョッピリ触れた少年たちの小学校最後の夏休みが終った。—永遠の夏の思い出を胸に…。

